

2025年5月社長会見



2025年5月23日

1. 営業・輸送概況

2. JR 西日本グループの地球環境保護の取り組み

3. Wesmo! サービスを開始します！

詳細

1. 営業・輸送概況

【運輸取扱収入（速報値）】

収入ですが、4月は前年比で104.7%、5月は14日までで108.1%です。

運輸取扱収入（速報値）

	前年同日比			
	収入計	近距離券	中長距離券	定期券
4月	104.7%	105.3%	106.5%	100.7%
5月 (5/1~14)	108.1%	107.0%	110.3%	101.8%

※実績は直営の速報値。駅などでの取扱高(消費税を含む)を示すものであり、旅行会社での発売分などを除きます。

【新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）】

次に、ご利用状況ですが、山陽新幹線は、4月が前年比で105%、5月が14日までで108%、近畿圏は、4月が104%、5月が14日までで104%です。

4月から5月にかけては、連休を中心に大阪・関西万博に訪れるお客様、訪日のお客様にご利用いただき、昨年を上回る実績で推移しています。

新幹線・在来線特急・近畿圏のご利用状況（速報値）

	前年同日比				
	山陽新幹線	北陸新幹線	在来線特急	近畿圏	
				近距離券発売枚数	自動改札通過人員
4月	105%	100%	103%	104%	103%
5月 (5/1~14)	108%	107%	110%	104%	103%

※実績は速報値。近畿圏は近距離券発売実績と自動改札通過人員の前年同日比を併記しています。

大阪・関西万博において、当社グループは、万博輸送を支える交通事業者として、会場までの安全な輸送の提供に努めております。

2025大阪・関西万博 会場内オフィシャルストア

©Expo 2025

◆店舗名

2025大阪・関西万博 会場内オフィシャルストア 西ゲート店 JR西日本グループ

◆店舗コンセプト

“みやげ話”になる「みやげ店舗」



提供：2025年日本国際博覧会協会
2025年日本国際博覧会協会提供画像を加工して作成



店舗外観



店舗内装

◆商品ラインナップ（一例）

新幹線・鉄道アイテム



企業・アーティストコラボ



モノづくり・工芸品



関西・日本土産



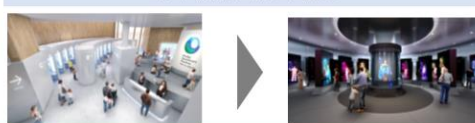
「カラダ測定ポッド」開発への参画

提供：（公社）2025年日本国際博覧会大阪パビリオン

大阪ヘルスケアパビリオンに展示されている
「カラダ測定ポッド」開発へ参画



「カラダ測定ポッド」で測定したデータから生成された
25年後の自分と出会う



万博会場内では、公式ライセンス商品を販売するオフィシャルストアを西ゲート前に出店しており、大変ご好評をいただいております。

また、大阪ヘルスケアパビリオン内に、5分程度で7分野の健康データを測定できる「カラダ測定ポッド」も提供しています。「カラダ測定ポッド」で測定したデータから、25年後の自分がアバターとして生成され、対面することができます。

ご来場の際は、ぜひ足をお運びください。

2. JR 西日本グループの地球環境保護の取り組み

次に、JR西日本グループの地球環境保護の取り組みについてご紹介します。

長期ビジョン2032／中期経営計画2025における環境分野の基本方針

JR西日本グループ環境基本方針

基本
指針
社会インフラを担う企業グループとして、地球環境保護の取り組みを通じ事業活動の基盤である社会の持続可能性を高めることに貢献します。

地球温暖化防止・気候変動対策

循環型社会構築への貢献

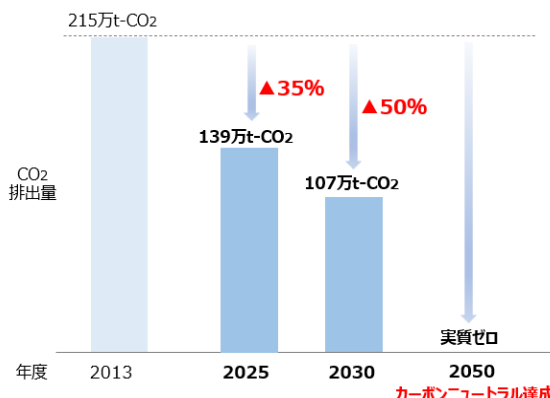
自然との共生（生物多様性、水資源の保護等）

基盤 グループ一人ひとりの考働エコ
着実な環境マネジメントの推進

取り組みの柱

環境長期目標「JR西日本グループゼロカーボン2050」

2050年のカーボンニュートラル達成に向け、**グループ全体のCO₂排出量を2013年度比で2025年度に▲35%、2030年度に▲50%削減します。**



鉄道を中心に環境優位性を磨き上げ、人と地球にやさしい交通・暮らしを促進

私どもは、「JR西日本グループ環境基本方針」に基づき、「地球温暖化防止・気候変動対策」「循環型社会構築への貢献」「自然との共生」の3つの分野を柱として、地球環境保護の取り組みを進めております。

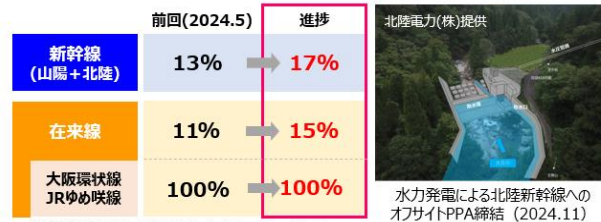
2050年のカーボンニュートラル達成に向け、今年度はCO₂排出量を2013年度比で35%削減する目標を掲げています。

主な取り組みをご紹介します。

地球温暖化防止・気候変動対策

◆再生可能エネルギー活用の推進

- ・列車運転用電力への再生可能エネルギー由来電力の導入を推進
- ・太陽光発電に加え、水力発電や風力発電など手段の多様化を目指す



◆移動で生じるCO₂排出量実質ゼロとなる法人向けサービス

- ・e5489「地域共生カーボンオフセットプログラム」

・「GreenEX」

- ・東海道・山陽新幹線から、九州新幹線へ拡大
- ・2025年4月時点での導入企業22社



※2025年4月入会企業様(一部)

地球温暖化防止・気候変動対策(万博関連)

◆弁天町駅でのm-DAC®※技術活用

※DAC: Direct Air Capture 空気中のCO₂を直接回収する技術

◆大阪駅エリア主要施設へ再エネ由来電力導入



m-DAC®装置



ヘロボスカイト太陽電池

◆万博アクセスルートの再エネ由来電力100%

エキスポライナー
(新大阪駅~桜島駅直通)

循環型社会構築への貢献

◆PETボトル水平リサイクルの推進

- ・目標を前倒して達成、更なる拡大を目指す

2025年度目標
(提供量)

50t

進捗
(2024年度末)

57t

◆駅直結の商業施設での古着回収

- ・実証実験を実施し、回収拠点の充実や連携パートナーの拡大を目指す



列車運転に使用する電力を、再生可能エネルギー由来の電力に置き換えることを進めており、現在契約済みの案件が全て運転開始した場合の再エネ比率は新幹線で17%、在来線で15%に達する見込みです。

電源構成についても、太陽光発電に加え、水力や風力など、多様化に向けて取り組んでいるところです。

このほかにも、出張による移動で生じるCO₂排出量が実質ゼロとなる法人向けサービスの展開や、万博の開催にあわせ、新たな技術を活用した取り組みも進めており、万博を機に関西へお越しになる皆さまにも体感いただける機会となっています。

地球温暖化防止・気候変動対策(新たな取り組み)

◆関西まちWe'll(まちウェル)の立ち上げ

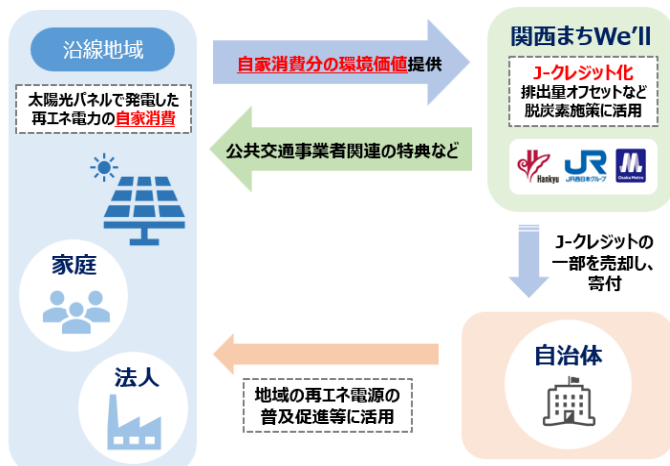
公共交通を軸とした脱炭素社会の実現
地域の再エネ電源の設置促進



沿線15自治体(※)
今後順次拡大予定

※大阪市、豊中市、摂津市、吹田市、池田市、
箕面市、茨木市、高槻市、島本町、尼崎市、
伊丹市、川西市、宝塚市、西宮市、長岡京市

◆J-クレジットを活用した連携プロジェクト(2025.9~実施)



事業者・自治体等の拡大を進め、関西エリアの脱炭素社会の実現に貢献

一点目は、地域脱炭素推進コンソーシアム関西まちWe'11（まちウェル）についてです。

今年1月、公共交通を軸とした脱炭素社会の実現に向け、阪急電鉄さまと共同で、「地域脱炭素推進コンソーシアム 関西まちWe'11（まちウェル）」を立ち上げ、この5月には、大阪メトロさまにもご参画いただくこととなりました。

今月から順次、沿線の15自治体と連携協定を締結し、公共交通の利用促進と再生可能エネルギーの電源設置を推進していきます。

この協定に基づく自治体との具体的なプロジェクトとして、沿線地域の太陽光パネルにより生み出される環境価値を集約し、国の認証制度であるJクレジット化する取り組みを本年9月よりスタートいたします。

太陽光パネルを保有するお客様や事業者様に、再エネ電力の発電に伴う環境価値を提供いただきまして、コンソーシアムにおいてJクレジットを創出します。

創出したJクレジットは、公共交通の脱炭素施策に活用するほか、一部は売却して自治体へ寄附し、自治体では家庭における太陽光発電などの普及のための助成金に使っていただくなど、地域の活性化に貢献してまいります。

環境価値をご提供いただいた方には、公共交通事業者から特典をご用意します。各社で異なりますが、私どもでは、個人の方に WESTER ポイントを提供することを考えています。自治体はコンソーシアムからの寄付金をもとに地域の再エネ電源の普及活動を行います。

沿線地域の環境価値を集約し、Jクレジット化する取り組みは、鉄道事業者では初の試みとなります。

今後も、他の公共交通事業者や自治体にも参画を募り、公共交通利用による地域脱炭素の取り組みを拡大していきたいと考えています。

循環型社会構築への貢献（新たな取り組み）

◆駅・列車における忘れ物傘の廃棄削減の取り組み



忘れ物傘の収集・保管

これまでは
持ち主不明で、
再利用不可能な傘は廃棄

シート再資源化

- ・傘to傘リサイクルによる資源循環
- ・貸出用傘として試行予定（JR西日本ヴィアインホテルズ）
- ・傘以外の製品化も可能
例：ネームホルダー、クリアファイル



クリエイティブによる付加価値

- 独自に加工（アップサイクルフラワー）
- ・2024おおさか環境賞協働賞受賞



廃棄物削減による資源の循環に取り組み、循環型社会の構築に貢献

続いて二点目ですが、駅や列車内で忘れ物となった傘の廃棄を削減する取り組みについてです。

これまで引き取りのない忘れ物の傘は廃棄されていましたが、これらのうち、ビニール傘のシート部分を再度生成し、廃棄傘からリサイクル傘に再製することで、資源の循環を図ります。

このリサイクル傘を、当社グループのJR西日本ヴィアインホテルズにて、貸出用の傘としてお客様に利用いただける取り組みを開始するほか、クリアファイルなど、傘以外の製品化も進めます。

また、シート部分を独自に加工して作るアップサイクルフラワーなど、様々な利用も検討してまいります。

wesmo! 5.28 DEBUT!

JR西日本のスマホ決済
wesmo! ウェスモ!
いよいよサービス開始!



Wesmo!



- ◆スタートダッシュキャンペーン（2025.6.16～6.30）
- ◆大型キャンペーン（2025.7～）

次に、このたび弊社が5月28日よりサービスを開始いたします新決済サービスWesmo！（ウェスモ）についてです。

サービス開始以降は、ウェスモの利用促進に向けまして、キャンペーンを実施してまいります。

既に6月下旬のスタートダッシュキャンペーンについてお知らせしておりましたが、この度、新たなキャンペーンとして、駅ナカで展開するセブン-イレブン・ハートインはもちろん、日本全国のセブン-イレブン店舗でのお買い物に対して、WESTERポイントがさらに貯まるキャンペーンを7月に計画しております。詳細につきましては、決まり次第、改めてお知らせさせていただきます。

人、まち、社会がもっとつながり、地域の皆さまがいきいきと暮らせるまちづくりに貢献できるよう、ウェスモのご利用拡大に取り組んでまいります。